

1 事業概要

事業の名称	東京都市計画道路 放射第25号線	評価該当要件	10年間継続	1回目
実施主体	東京都(建設局)	事業所管部署	道路建設部街路課	
都市計画決定(当初)	昭和20年度	事業認可年度(当初)	平成22年度	事業期間: H22年度~H28年度
都市計画決定(最新)	昭和20年度	事業認可年度(最新)	平成28年度	事業期間: H22年度~R3年度
事業箇所	新宿区新宿七丁目 ~ 原町三丁目	事業規模	延長 860m	
事業概要	・放射第25号線は、区部中心部を東西に結ぶ重要な幹線道路である。放射第25号線は、区部中心部を東西に結ぶ重要な幹線道路である。このうち本事業区間は、新宿区新宿七丁目から原町三丁目までの延長860mの区間である。 ・本事業により、周辺地域の道路交通の円滑化が図られる。また歩道拡幅や電線類の地中化及び街路樹の植栽を行うことで、快適で安全な歩行者空間が形成され、都市景観が向上する。			

2 社会経済情勢等の変化(事業の必要性等に関する視点)

社会経済情勢等の変化 (認可時点から変化がある場合は変化・変更内容欄に記載)
(社会経済情勢の変化) 本路線周辺の平成27年度の現在交通量は、平成22年度と比較して、横ばいとなっている。 ○現況自動車交通量【都道433号】(道路交通センサスによる) 平成22年度:9,496台/12h 平成27年度:9,427台/12h (関連する他事業等の進捗状況の変化) 放射第25号線のうち、隣接する原町三丁目交差点～牛込中央通りまでは都の第四次事業化計画に位置づけられている。放射第25号線のうち、牛込中央通り～筑土八幡交差点までの延長約850m(筑土八幡地区)は平成25年度に事業着手しており、用地を約21%取得している。 本線と交差する、環状第4号線の放射第6号線～放射第25号線までの延長約330m(河田町地区)は平成13年度に事業着手しており、用地を約99%取得している。環状第4号線の大久保通り～早稲田通りまでの延長655m(夏目坂地区)は平成29年度に事業着手した。

3 事業の投資効果(事業の必要性等に関する視点)

定量的効果 B/C	2.6		
現在価値化総便益額(B)	573.7億円	現在価値化総費用額	216.7億円
走行時間短縮便益	502.1億円	工事費	60.3億円
走行経費現象便益	61.3億円	用地費	149.9億円
交通事故減少便益	10.4億円	維持管理費	6.5億円
定性的効果	<交通> ・交通渋滞の解消 ・物資流動円滑化への寄与 ・バスの定時性 ・迂回交通の減少 <景観> ・都市景観の向上 <防災> ・緊急車両の走行 ・延焼遮断 ・災害時の避難路の確保		
	<くらし> ・公共施設へのアクセス向上 <安全> ・交通事故の減少 ・バリアフリー化 ・自転車や歩行者のための空間確保		

4 事業の進捗状況(事業の必要性等に関する視点)

事業費の執行状況 (H30年度末時点)			
	用地費	工事費	合計
全体事業費	18,634百万円	1,020百万円	19,654百万円
執行済額	14,628百万円	73百万円	14,701百万円
(執行率)	78.5%	7.1%	74.7%
用地取得状況 (H30年度末時点)			
取得予定面積(A)	既取得面積(B)		用地取得率(B/A)
10,138㎡	7,241㎡		71.4%
一定期間を要した背景、地元の理解・協力の状況			
・一部権利者において移転先選定が難航していること及び権利者多数の区分所有マンションが多いことから用地折衝に時間を要している。			
事業の進捗状況・残事業の内容			
進捗率	用地は約71%取得している。		
残事業	未取得用地の早期更地化を目指し、折衝を進めている。		

5 事業の進捗の見込みの視点

事業の実施のめど、進捗の見通し等
・引き続き、用地取得を進める。 ・順次、工事に着手していく。

6 コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

コスト縮減や代替案立案等の可能性
(新工法の採用など)(事業手法、施設規模等の見直しの可能性) ・一般的な街路築造工事であるため、施工にあたって、新工法の採用等による新たなコスト縮減の可能性は極めて少ない。 ・平面の街路築造工事であり、事業手法、施設規模等を見直す可能性はない。
その他のコスト縮減の取組
・施工にあたっては、建設発生土の再利用や再生材の使用などにより、コスト縮減に努めていく。

7 対応方針案

総合評価	・本路線は、区部中心部を東西に結ぶ重要な幹線道路である。 ・本区間の整備により、交通渋滞の緩和、安全で快適な歩行空間の確保、都市景観の向上等、様々な面で十分な整備効果が期待できる。 ・中止の場合は、上記の整備効果を発揮できないだけでなく、これまでの投資に見合った効果も得られなくなる。
対応方針案	継続